

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		憩いの水辺創出			整理番号	566	枝番号								
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先 電話番号	3428	昨年度 整理番号	583	昨年度 枝番号					
係名				施設整備係				上位施策名		No					
予算事業名				憩いの水辺創出		コード		60100		水辺とみどりの保全創出		12			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(2)	施策番号		事業コード	1
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第281条		(2) 河川法第16条		(3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)区域において、人が水に触れ、憩うことのできる水辺環境を創出する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民生活にやすらぎや潤いを与え、生活活力の増進を図る。							
	活動指標名(式)			(1) 護岸緑化整備延長(累計) (2) キロポスト設置箇所(累計)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 護岸緑化整備率 = (護岸緑化整備延長(累計) / 目標護岸緑化整備延長) × 100 (2) キロポスト設置率 = (キロポスト設置箇所(累計) / 目標キロポスト設置箇所(累計)) × 100							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		m	0	485	485	732	665	913	1,078	61.7				
	活動指標(2)		箇所	0	196	196	222	222	378	378	58.7				
	成果指標(1)		%	100	0	0	0	0	0	1	0.0				
	成果指標(2)		%	0	52	52	59	59	100	100	58.7				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,189	18,904	18,377	11,314	10,773	22,900	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	28	18,860	18,339	11,150	10,773	22,700						
	(内) 委託費		千円	9,161	18,860	18,339	11,150	10,773	22,700						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.35	0.60	0.65	0.90	0.90	1.00	活動指標(1)については、平成17・18年度は実績(累計)、平成19年度は計画(累計)、平成20～22年度は善福寺川鋼矢板護岸の緑化計画(累計)を加算し、目標値とする。 活動指標(2)については、平成17・18年度は実績(累計)、平成19年度は計画(累計)を加算し、目標値とする。なお、キロポスト設置は平成19年度をもって完結する。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,185	5,436	5,889	8,154	8,154	9,060						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	12,374	24,340	24,266	19,468	18,927	31,960						
	単位あたりコスト(-)÷		円		11,299	12,221	11,363	12,262	10,142						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	12,374	24,340	24,266	19,468	18,927	31,960							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			工事請負費(河川緑化工事)					1	式	4,683					
			委託料(河川補修計画詳細調査委託)					1	式	6,090					
			その他 ()							0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの情報発信					整理番号	613		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			コード	221904		連絡先電話番号	内3593			
係名		みどりの計画係					上位施策名	No				
予算事業名		みどりを育てる			コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての区民(一部小学生)		(1) 杉並区みどりの条例 (2) (3)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		みどりの新聞「みどりとひと」、緑化事業パンフレット、緑化副読本「みどりとわたしたち」の印刷物の発行を通して、地域緑化の普及啓発をはかる。特に、みどりの新聞は、みどりのボランティアとの協働編集により発行する。									
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) みどりの新聞閲覧率 = 町会等加入世帯数 ÷ 区内世帯数 (2) 緑化副読本配布率 = (配布数 + 販売数) ÷ 印刷部数									
指標	区分		単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		%	57	57	57	57	56	56	56	100.0	
	活動指標(2)		%	97	100	98	100	98	100	100	98.0	
	成果指標(1)		人	112	125	126	150	166	150	150	110.7	
成果指標(2)		団体	82	90	91	100	98	100	100	98.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,442	4,617	4,274	5,013	4,477	4,636	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	886	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.45	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,640	3,624	3,624	3,624	4,077	2,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	9,082	8,241	7,898	8,637	8,554	7,354			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	159,333	144,579	138,561	151,526	152,750	131,321			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	9,082	8,241	7,898	8,637	8,554	7,354				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		みどりの新聞の発行(委託等)					4	回	2,646			
		緑化副読本の発行(委託等)					3,600	部	1,195			
		緑化事業パンフレットの発行(委託等)					21,000	部	635			
		その他 ()							1			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 613 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	98.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	98.0	18年度予算 執行率%	89.3
		印刷物は計画どおり発行し、経費節減につとめた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		みどりの新聞や緑化事業パンフレットの発行では、予算の範囲内だが、読者の関心を高めるような編集発行につとめた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	行政による編集・発行であったものを、順次区民との協働編集へ移行している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	内容など、質の高い印刷物発行を目指しており、最近では読者などから記事に対する反響がしばしばある。					
	今後の予測	区民の緑化への関心の高まりを反映して、益々印刷物への反響が多くなると予想している。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 緑化意識の高揚に効果がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 読者の立場に立った編集発行に心がける。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 緑化に関する普及啓発用印刷物である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 編集する側のレベルアップ。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 協働により印刷物を発行することで、編集協力の区民が緑化などに対する意識が高まる。また、さらなる編集協力などの協働体制の充実を進める。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金の活用						整理番号	614		枝番号		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904		連絡先 電話番号	内3593		昨年度 整理番号	633		昨年度 枝番号
係名		みどりの計画係						上位施策名		No			
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出		12				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号		事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 緑化活動を行う区民や団体		(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱 (3) 杉並区みどりの基金緑化活動助成金交付要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民等からの寄付積立て金を、緑化活動助成、緑化活動を担う人材育成、民有樹木保全、緑化意識の普及啓発、みどりの保全・創出に関する事業に活用する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 寄付積立金を活用して、地域緑化活動の担い手となる人材を育成するほか、みどりの保全や緑化の推進を図る。								
	活動指標名(式)		(1) 活動助成予定件数 (2) みどりの保全・創出箇所数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 活動助成応募件数 (2) みどりの保全・創出面積								
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		件	4	10	0	10	0	10	5	0.0		
	活動指標(2)		箇所	0	2	0	2	0	2	2	0.0		
	成果指標(1)		件	4	10	0	10	0	10	5	0.0		
成果指標(2)		m ²	0	100	0	100	0	100	100	0.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	98	950	0	840	0	840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0				
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,730	2,718	2,718	2,718	2,718	906			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	2,828	3,668	2,718	3,558	2,718	1,746				
	単位あたりコスト(-)÷		円	707,000	366,800		355,800		174,600				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,828	3,668	2,718	3,558	2,718	1,746					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)			
		みどりの基金有効活用の検討											
		その他 ()								0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	614	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%
		活動助成の仕組みの見直し要望などから見直し検討を行った。			
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		基金の活用内容の検討を進めた。			
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15、16年度と、活動助成を実施したが、応募が少なく、17、18年度は募集を行わず、仕組みの見直し検討を進めている。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	基金への寄附者などからは、活用目的が人材育成中心であり、もっと大きな目標を示せなどの要望がある。一方、ボランティアからは、基金による活動支援の要望がある。			
	今後の予測	このままでは、基金への区民寄附額が増額となることは望めない。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由)	理由: 現行の仕組みを活用希望している主体の実態を見ると、運用しても施策への貢献度は低い。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 現行の活用の仕組みでは成果は望めない。			
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 活用の根拠などを見直し、区民に理解される基金の有効活用策が必要である。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 寄附積立金は、みどりの保全、緑化の推進などへの活用であるため、受益者負担になじまない。			
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 最低限の経費であり、コストを下げる余地はない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 基金の寄付状況、残高状況を踏まえ、ボランティア団体などへの助成のあり方を検討するなど、限られた基金の有効活用など進める。			
	(3) 協働等の形態				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 活用する原資をいかに増やすかに主眼を置きながら、有効活用など基金運用の仕組みを見直す。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし。		
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの講座の開催					整理番号	615	枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先 電話番号	内3593	昨年度 整理番号	634	昨年度 枝番号		
係名		みどりの計画係			上位施策名			No				
予算事業名		みどりの講座の開催		コード	63900	水辺とみどりの保全創出			12			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号 3 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区みどりの条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)					
							(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		緑化知識を普及するため、広報などを使い受講者を募集し、みどりに関する様々な講座を実施する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		講座を通して、区民のみどりに関する意識・知識を高め、地域緑化にかかわる区民を増やす。					
活動指標名(式)		(1) 講座開催数 (2) 募集人数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 参加人数 (2) 参加率 = 参加人数 ÷ 募集人数 × 100						
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	4	20	7	20	7	20	10	70.0	
	活動指標(2)		人	200	1,000	208	1,000	136	1,000	500	27.2	
	成果指標(1)		人	126	1,000	162	1,000	107	1,000	500	21.4	
	成果指標(2)		%	63	100	78	100	79	100	100	79.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	100	745	325	705	335	709	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,730	2,718	2,718	2,718	2,718	4,530		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,830	3,463	3,043	3,423	3,053	5,239			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	707,500	173,150	434,714	171,150	436,143	261,950			
	財源	受益者負担分		千円	13	100	12	125	87	125		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	13	100	12	125	87	125				
差引: 一般財源 -		千円	2,817	3,363	3,031	3,298	2,966	5,114				
受益者負担比率 ÷		%	0.5	2.9	0.4	3.7	2.8	2.4				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		みどりの講座講師謝礼					20	人	185			
		みどりの講座教材費、保険料					1	式	150			
		その他 ()							0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 615 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	35.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	13.6	18年度予算 執行率%	47.5
		地域大学における講座との連携など、開催講座内容を再検討した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域緑化を担うボランティア志向の区民向け講座は、地域大学における「みどりの協働コース」7講座に集約した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	みどりの減少傾向や園芸ブームが続くなか、区民のみどりに対する関心が多様化してきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	住宅事情などを反映してか、草花や鉢物の育て方をはじめ、野生生物への要望など、多岐にわたり寄せられている。					
	今後の予測	みどりへの関心分野が益々多様化・細分化する傾向にあることから、講座に求められる内容も「自然環境」という広くくりで考える必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	区民の緑化活動やボランティア活動意識を後押しするきっかけづくりなどになり、講座が担う役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:地域緑化を実践している区民・団体との連携や講座の開催項目を多様化することで、マンネリ化や受講者の底辺拡大を通して受講者の増員をはかる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:場と情報を提供しながら、必要な資材・教材などは実費を徴収する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:みどりの分野に精通した講師を招くため、コストにばらつきはあるにしても、応分のコストはかかる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(へ)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ)	協働等による成果と課題 講座の開催では、講座内容によりボランティアへ講師依頼するなどを進めているが、講座の企画・運営などで更に協働を進める。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 すぎなみ地域大学「みどりの協働コース」との役割分担をしながら、緑の分野の区民が求めている情報などを提供して行く。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民が求めているみどりの情報の把握方法。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 すぎなみ地域大学との役割分担による事業量の減。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのイベントの開催					整理番号	616	枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先 電話番号	内3593	昨年度 整理番号	635	昨年度 枝番号		
係名		みどりの計画係			上位施策名			No				
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出			12			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区みどりのリサイクル計画 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		みどりのボランティア杉並や区内造園事業者有志などと協働して、開催主体の活動PRをはじめ、みどりのリサイクル活動の普及やみどりの大切さのアピールなどする。									
	活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) イベントの出展内容や開催を通して、区民にみどりの大切さや課題、地域緑化ボランティアの活動などを知ってもらい、地域緑化への関心を高める。									
		(1) イベント開催数		(2) イベント来場予定者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 来場者数 (2) 出展数						
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回	1	1	1	1	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)		人	200	200	200	200	500	800	800	62.5	
	成果指標(1)		人	200	500	600	600	1,000	1,000	1,000	100.0	
	成果指標(2)		件	18	18	24	24	24	24	30	80.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	85	85	100	115	226	315	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0		0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820	1,812	1,812	1,812	1,812	1,812		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	1,905	1,897	1,912	1,927	2,038	2,127			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,905,000	1,897,000	1,912,000	1,927,000	1,019,000	1,063,500			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,905	1,897	1,912	1,927	2,038	2,127				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		みどりのイベント						1	回	183		
		落ち葉感謝祭						1	回	43		
		その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 616 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	200.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	250.0	18年度予算 執行率%	196.5
		予算は、資材費と保険料である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		植物発生材を積極的に活用するなどして、コスト意識を持ちながら春と秋の二回のイベントを実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始当初は、経費をかけずにみどりの普及啓発に主眼を置いた小規模な催しであったが、現在は区民ボランティアや造園事業者との協働により内容が拡充してきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	継続実施の要望がある。					
	今後の予測	秋のイベントは、初めてであったが予想外の集客であった。今後は、春と秋のイベント内容の振り分けなどしながら、更に内容の充実を図るため、区民の来場者数増が期待できる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:みどりの普及啓発事業としては、協働開催と合わせ、多くの区民が参加するため、開催効果は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:開催時期や出展内容の充実、積極的なPRなどすることで、これまで以上の成果が期待できる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:出展内容により、参加者から実費の参加費を徴収する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現在が最小の経費で実施しているため、これ以上コストを下げることは困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 開催形態は、ボランティア、事業者、区の三者により開催している。今後は、参加主体の充実など、内容の充実を通して来場者数を増やす。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ボランティア、事業者、区の協働による開催が少しずつ定着してきていることから、今後も開催に向けた調整や役割分担、参加団体の充実を図って行く。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在は、主管課の備品などを活用して実施をしているが、内容・参加団体の充実と共に会場設営資材など、確保ができなくなる。そのためには、一部会場設営などを委託する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 最小の経費で実施努力する。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			みどりのボランティア					整理番号	617	枝番号			
担当部課名			都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先 電話番号	内3593		昨年度 整理番号	636	昨年度 枝番号	
係名			みどりの計画係					上位施策名		No			
予算事業名			みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出		12				
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号 事業コード					
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 みどりに関心を持ち、地域緑化に関するボランティア活動に理解と意欲のある区民		(1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			地域緑化へのボランティア活動希望者を区が登録し、活動しやすい環境の整備や支援を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域緑化に対する理解と意欲のある区民の輪を広げる。					
	活動指標名(式)			(1) 登録者数 (2) グループ数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) ボランティア活動の延参加人数 (2) ボランティア活動件数					
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度 計画	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)		人	110	150	126	150	166	150	150	110.7		
	活動指標(2)		団体	12	15	13	15	13	15	15	86.7		
	成果指標(1)		人	930	1,000	831	1,000	1,094	1,000	1,000	109.4		
	成果指標(2)		件	114	150	136	150	139	150	150	92.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	350	358	150	315	239	315	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.70	0.70	0.70	0.60	0.60	0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,370	6,342	6,342	5,436	5,436	4,530			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	6,720	6,700	6,492	5,751	5,675	4,845				
	単位あたりコスト(-)÷		円	61,091	44,667	51,524	38,340	34,187	32,300				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	6,720	6,700	6,492	5,751	5,675	4,845					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			ボランティア保険、資材費					1	式	239			
			その他 ()							0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 617 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	110.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	86.7	18年度予算 執行率%	75.9
		資材費支出の節減による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ボランティアとの信頼関係が深まってきている。また、ボランティア同志の交流なども盛んになりつつある。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	行政内部の事業実施態勢が協働志向へと変化してきている。そのため、ボランティア活動の底辺が着実に広がっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区民の地域緑化に関するボランティアへの関心は着実に高まっている。					
	今後の予測	団塊の世代の地域デビューなど、ボランティア活動志向の区民が増加すると考えている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 地域緑化を推進する上では、行政の守備範囲だけでは不十分であり、区民ボランティアの役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ボランティア活動を進めるには、財政的支援が活動拡大には不可欠である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: ボランティアは、受益者ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: ボランティア活動の充実には、応分の財政的裏づけが必要である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ボランティアの底辺拡大は着実に進んでいる。しかし、活動に必要な経費確保が必要である。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 最小の経費で活動成果が上がるよう、行政とボランティアとのコミュニケーションなどの充実を今まで以上にはかる必要がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの相談所						整理番号	618	枝番号	
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	内3593	昨年度整理番号	637	昨年度枝番号	
係名		みどりの計画係						上位施策名		No	
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出		12			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 緑化に関する相談や情報を必要としている区民				根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例 (2) 建設省都市局長通達(昭和50年) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		みどりの相談コーナー、みどりに関する書籍の閲覧ができる図書コーナー、緑化講習を実施する講義室、緑化見本園を備えた「緑の相談所」を設置・運営している。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 緑化相談や緑化講習、情報の提供を通して、地域緑化の知識・意識の向上を図る。				
	活動指標名(式)		(1) 緑化相談実施日数 (2) 相談講師数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 相談件数累計 (2) 来所者数				
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
	活動指標(1)		日	102	104	102	104	103	104	104	99.0
	活動指標(2)		人	2	2	2	2	2	2	2	100.0
	成果指標(1)		件	5,701	6,251	6,197	7,350	6,657	7,100	9,000	74.0
	成果指標(2)		人	230	300	191	300	192	300	300	64.0
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,808	3,037	2,883	3,034	2,884	3,201	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費		千円	1,379	1,380	1,380	1,380	1,378	1,380		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	910	906	906	906	906	906	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	3,718	3,943	3,789	3,940	3,790	4,107		
	単位あたりコスト(-)÷		円	36,451	37,913	37,147	37,885	36,796	39,490		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	3,718	3,943	3,789	3,940	3,790	4,107			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)	
		みどりの相談員謝礼						2	人	1,349	
		緑化モデル園の管理						1	式	1,378	
		資料図書等維持管理事務費						1	式	156	
		その他 ()								1	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 618 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	95.1
		概ね計画通りである。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		相談所の活性化に向け、みどりのボランティアの活動場とするなど、具体的な方策を検討する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開設当時は、職員による園芸相談など行っていたが、近年、相談員の委託化や相談日の減少などで、一時利用者数が減少したものの、東京都の緑の相談所廃止と共に存在価値が益々高くなっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区民だけでなく、他の区からも相談に訪れる人が出てきている。					
	今後の予測	みどりの相談は、区民の緑化意識の高まり傾向が続くなか、益々利用されるようになると予想する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民の緑化意識普及やボランティアの活動場などとしていくことで施策への貢献度は大である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: みどりのボランティアの活動場にするなど利用拡大することで、相談所へ区民の目が向くと共に、将来的には相談なども気軽にボランティアが対応することも可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 地域緑化の大切な普及発拠点である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 現在の運営状況を充実するためには、みどりのボランティアとの協働を取り入れるなど検討する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 みどりのボランティアの活動場とすることで、運営の活性化を進める。また、こうした施設活用と共に、みどりの相談窓口など運営へのボランティアの協力を検討する。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 これまでの専門相談員による園芸相談窓口に加え、施設をみどりのボランティアの活動場として行く。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの育成協定				整理番号	619		枝番号						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	内3593		昨年度整理番号	638	昨年度枝番号				
係名		みどりの計画係				上位施策名		No							
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出		12							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	2	施策番号	1	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内に存する1000㎡以上の敷地を有する工場や住宅団地などの所有者、管理者				根拠法令等		(1) 杉並区みどりの条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		協定対象敷地の管理者等と、敷地内の緑化に関する協定(5年間)を締結し、緑化に必要な苗木の供給などを行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		大規模敷地の緑化余力地に緑化し、みどりを育成することで、まちの緑被率アップを図る。						
活動指標名(式)		(1) みどりの育成協定数 (2) みどりの育成協定面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 苗木供給本数 (2) 苗木の供給実績件数							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)		件	4	10	3	10	2	10	6	33.3				
	活動指標(2)		㎡	14,678	10,000	11,311	10,000	8,159	10,000	6,000	136.0				
	成果指標(1)		本	73	900	73	900	63	900	540	11.7				
	成果指標(2)		件	3	10	3	10	2	10	6	33.3				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	215	831	376	831	204	832	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820	1,812	1,812	906	906	906					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	2,035	2,643	2,188	1,737	1,110	1,738						
	単位あたりコスト(-)÷		円	508,750	264,300	729,333	173,700	555,000	173,800						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	2,035	2,643	2,188	1,737	1,110	1,738							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		苗木の供給						63	本	204					
		その他 ()								0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 619 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	20.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	81.6	18年度予算 執行率%	24.5
		協定者の減少による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		PRに努めてきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	大規模敷地の建物更新などが進むなか、緑化指導の基準見直しや対象の拡大などの効果により、対象となる敷地が減少している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	事業が強制でないことから対象の発掘は、これまで以上に困難になると考える。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:敷地限定の苗木配布的の事業であり、現在のまちの状況に合致しなくなっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:対象の拡大が望めないため。 理由または具体的内容:対象の見直しと新規事業への内容変更を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:みどりの絶対量を拡大する事業として、現物支給などするため、見直し余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:新たな事業へ活用できるよう、事業内容を見直す。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 長年の事業推進や緑化指導の基準見直しなどにより、敷地内緑化が進んでいる。また、本事業は、大規模敷地に対する苗木の供給制度であるため、協働推進には馴染まない。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本事業は内容を見直し、みどりのベルトづくりを進める上での新たなみどりの協定制度に改正する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民有地緑化の手法の一つとするが、協定を動かすためには、まちでの新たな緑化活動となるような住民との合意形成が不可欠である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			みどりの基金(積立金)				整理番号	620	枝番号			
担当部課名			都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	内3593	昨年度整理番号	640	昨年度枝番号	
係名			みどりの計画係				上位施策名		No			
予算事業名			みどりの基金		コード	64650	水辺とみどりの保全創出		12			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		14年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号 1 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 基金に寄付をよせる個人、団体		(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			緑化活動を担う人材育成をはじめ、区内のみどりの保全及び緑化の推進に関する事業経費の財源に充てるため、区民、事業者及び区が協働して寄付を募る。								
	活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 基金寄付件数 (2) 継続基金寄付団体								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 当面の基金積立額5億円を目標とする。									
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 年間基金寄付総額 (2) 継続基金寄付団体基金寄付額									
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
					計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		件	22	50	11	50	16	50	100	16.0	
	活動指標(2)		件	4	10	4	10	5	10	10	50.0	
	成果指標(1)		千円	345	10,000	565	10,000	339	10,000	10,000	3.4	
	成果指標(2)		千円	220	500	175	500	240	500	500	48.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.05		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	910	906	906	906	906	453		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	910	906	906	906	906	453			
	単位あたりコスト(-)÷		円	41,364	18,120	82,364	18,120	56,625	9,060			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	910	906	906	906	906	453				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			みどりの基金の増収策の検討									
			みどりの基金のPR									
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 620 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	32.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	50.0	18年度予算 執行率%	
		区民の認知度が低いことや活用方法からくる区民の寄付意識の醸成が難しいため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		基金の運営要綱などの見直し検討を進めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	変化は見られない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特にない。					
	今後の予測	このままでは、寄付の増額は望めない。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 地域緑化への区民参加意識の醸成効果は大と考える。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 基金の活用目的の見直しなどを通して、積極的にPRすることで区民の寄付意識を高める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 基金への寄附金の積立のため、受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 基金管理の最低限の経費であり、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 基金友の会など、基金の普及啓発組織の育成拡大を図る。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 基金の積立額を増加させるために、基金運営要綱の見直しをする。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校接道部緑化				整理番号	621	枝番号							
担当部課名	みどり公園課	コード	221908	連絡先電話番号	3596	昨年度整理番号	641	昨年度枝番号							
係名	みどりの事業係	上位施策名				No									
予算事業名	みどりを創る	コード	64100	水辺とみどりの保全創出				12							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	-2	施策番号	事業コード	5				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業			<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等										
	区立学校			(1) 杉並区みどりの条例 (2) (3)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区立学校において、道路に面した塀等を生けがきしたりフェンス緑化する。(ピオトープの設置については、平成17年度より教育委員会に移行している。)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 過密化した地域において学校は防災上、まちなみ景観上、環境改善上重要なオープンスペースであることから、地域緑化の先導的役割を果たすとともに特に、移動性動物の移動ネットワークの拠点とする。											
	(1) 接道部緑化整備延長(m) (2) ピオトープ設置校数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 接道部緑化率:整備延長÷接道部緑化計画延長×100 (2) ピオトープ設置率:設置校数÷設置計画校数×100												
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		m	158		260		154		260	260	58.5			
	活動指標(2)		所	2											
	成果指標(1)		%	61		100		59		100	100	58.0			
	成果指標(2)		%	100											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,620		20,100		6,759		20,100	5,492	20,100	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	40,620		20,000		6,759		20,000	5,492	20,000			
	(内) 委託費		千円	40,539		20,000		6,725		20,000	5,492	20,000			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.15	0.00	1.10	0.00	1.10	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,343		10,010		9,966		11,778	11,778	11,778		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0	0	0		
	総事業費 ++		千円	50,963		30,110		16,725		31,878	17,270	31,878			
	単位あたりコスト(-)÷		円	65,462		38,885		64,731		45,685	77,487	45,685			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	50,963		30,110		16,725		31,878	17,270	31,878				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容							規模	単位	事業費(千円)				
		富士見丘小学校接道部緑化工事							82	m	1,922				
		杉並第二小学校接道部緑化工事							70	m	3,570				
		その他 ()									0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 621 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	58.5	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	27.3
		学校の安全性等を配慮して行うことが重要であり、十分な調整が必要となり、施工箇所の確保が難しかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		再度、安全・安心の立場で、学校の調査が求められている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	接道部緑化については万年塀やブロック塀をとりはずして生けがきや植樹帯にする事業であったが、安全安心の危機管理意識の高まりから既存フェンスにつる植物を絡ませたりする手法が主流になってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	接道部緑化については塀をはずして生けがき化すると防犯上課題がある。					
	今後の予測	接道部緑化についてはフェンスをそのまま生かした緑化を中心に考える。塀などは危険を伴う場合があるので、フェンスなどに置き換えて設置していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: みどりを増大させるための地域緑化の先導的な役割を果たすため大変重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: みどりのベルトづくりにおいて、地域との一体的な景観づくりとの取り組みが必要である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区自ら施設を緑化するため					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 施工する場所の条件によりコストが変わってくるが、近年は条件が厳しいところが多いためコストの下がる余地がない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 工事場所の選定、設計や学校との調整は職員が行い、工事を業者に委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 それぞれの地域に合った接道部緑化を行う。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ヒートアイランド対策として、屋上緑化に劣らない効果が壁面緑化にはある。そのため、接道部緑化としてコンクリート等の擁壁の緑化に取り組み、景観向上にも貢献していく。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクル(落ち葉溜めの設置)				整理番号	622		枝番号		
担当部課名	みどり公園課		コード	221908	連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	642		
係名	みどりの事業係		上位施策名				No				
予算事業名	みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出				12	
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 I 政策番号 (2) 施策番号 ① 事業コード 5					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公園、学校、道路、河川、公共施設				根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例 (2) (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	学校や公園に落ち葉溜めを設置して落ち葉の堆肥化を進める。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 剪定枝や落ち葉をごみとして焼却せずに資源として活用する。					
	活動指標名(式)	(1) 発生材の資源化量(t) (2) 落ち葉溜め設置校				成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 資源化率 = (再資源化量 ÷ 発生材の総量) × 100 (2) (代)落ち葉溜め設置累計					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	① m ²	12	12	12	12	12	12	12	100.0	
	活動指標(2)	② 箇所	3	3	3	3	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)	③ %	100	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)	④ 箇所	18	21	21	24	24	27	36	66.7	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	1,377	1,075	1,440	1,575	1,564	1,575	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	⑥ 千円	1,377	1,000	1,440	1,500	1,489	1,500			
	(内) 委託費	⑦ 千円	1,377	1,000	1,440	1,500	1,489	1,500			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.72 0.00	0.72 0.00	0.72 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	⑨ 千円	6,552	6,523	6,523	2,718	2,718	2,718		
		非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	7,929	7,598	7,963	4,293	4,282	4,293			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	546,000	549,833	543,583	232,750	232,750	232,750			
	財源	受益者負担分	⑬ 千円								
		国・都等からの支出金	⑭ 千円								
特定財源計⑬+⑭		⑮ 千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源⑪-⑮		⑯ 千円	7,929	7,598	7,963	4,293	4,282	4,293			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑰ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	落ち葉溜め設置校(松庵小学校・高井戸東小学校・高井戸第四小学校)						3	校	1,489		
	その他 (チユバシュレッダー点検修理)								75		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 622 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	99.3
		配当予算内で落ち葉溜め3基を設置することは可能となったが、特に学校要望の多い2連型設置は難しい。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		落ち葉溜めの腐葉土利用が進み、土づくりの意識が高まってきた。みどりのリサイクルとしての位置づけが明確になってきており、一層の充実が求められている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	植物系発生材の焼却処分の減少と自区内処理の増加。公園の落ち葉の区民配布などを実施してきた。平成16年度にみどりのリサイクル計画が決定し、民間のみどりのリサイクルを含めた総合的なみどりのリサイクルが策定された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学校に設置する際は、1連型設置の希望よりも2連型設置の希望が多い。					
	今後の予測	植物系発生材の再資源化を自区内で拡大するため、具体的なリサイクルプログラムを作成し、平成17年度より積極的に資源化を行い、18年度以降の設置場所の拡充に努める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 植物系発生材の自区内処理と活用を拡大していく。					
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。					
	②成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 防音・防臭・防虫等の設備が整った「みどりのリサイクルセンター」が必要となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 公共施設においては、所管課のみどりのリサイクル費用を別途計上する必要がある。個人法人については、ゴミの有料化との兼ね合いを検討する必要がある。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 植物系発生材を焼却せずに自区内で積極的に資源化することでコストが増加する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。自区内処理が実現できていない。個人・企業の力を借り、剪定枝葉・落ち葉を公共・民有を問わず回収し、堆肥化等処理後、元の場所へ戻す(元の場所で活用する)しくみづくりが円滑に運用できている状態が理想である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の推進には区民の理解と協力が不可欠であり、実態にあったプログラムの実施が必要である。平成16年度のみどりのリサイクルの検討結果により、総合的なみどりのリサイクルとして民間のみどりの資源化を図ることになっている。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 剪定枝のリサイクル活用が肥料用チップとマルチング用チップだけでは活用先が限定され、需要が限られて、頭打ちになっており、活用内容の開発が求められる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 当面、検討結果を事業推進に反映させるため、詳細な検討・調整が必要である。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苗木等の育成活用				整理番号	623		枝番号					
担当部課名	みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	643		昨年度枝番号		
係名	みどりの事業係				上位施策名					No				
予算事業名	みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出				12				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区緑化用苗木育成管理委託実施要綱 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		緑化を推進するために、苗木を公共施設の緑化に活用したり、区のイベントや地域緑化・環境保全に関するイベントで配布したりする。区内農地の確保のため、配布用苗木の育成を営農団体に委託し、契約年数後、区で引き取る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 苗木を活用することで、区民の緑化啓発意識を高め、区内緑化面積の創出を図る。苗木の育成委託をとおして、苗木の安定確保を図るとともに営農者の支援や農地の保全を図る。							
	活動指標名(式)		(1) 苗木の配布数 (2) 苗木育成による委託本数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 配布苗木累計数に見る想定創出緑化面積 (2) 苗木育成による農地保全面積							
指標	区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	本	4,397		3,000	5,590	3,000	6,680	3,000	3,000	222.7			
	活動指標(2)	本	14,000		10,500	13,500	9,000	9,000	7,500	10,500	85.7			
	成果指標(1)	m ²	16,758		17,028	16,229	17,028	17,028	17,028	17,028	100.0			
	成果指標(2)	m ²	442		330	330	330	330	330	330	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,520		1,890	1,890	1,620	1,620	1,350	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円												
	(内) 委託費	千円	2,520		1,890	1,890	1,620	1,620	1,350					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,640		3,624	3,624	906	906	906				
		非常勤職員分	千円	0		0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	6,160		5,514	5,514	2,526	2,526	2,256					
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,401		1,838	986	842	378	752					
	財源	受益者負担分	千円											
		国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +		千円	0		0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	6,160		5,514	5,514	2,526	2,526	2,256					
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)				
	苗木の育成活用							9,000	本	1,620				
	その他 ()									0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 623 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	222.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	100.0
		生産苗木は、学校・公園等の公共施設への補植用とイベント配布用として活用している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		営農者への支援や農地保全の意味あいの強い事業であり、苗木ばかりではなく、花材生産への取り組み検討を進める時期にきている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	農地保全・営農者支援及び苗木の安定供給を図ることを目的にしている。しかし、現在では、公共施設の新規・改修整備が少なく、苗木の活用が滞っている。また、苗木無料配布への疑問も生じている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	苗木の無料配布を望む声はある。しかし、区が配布した苗木を寄付樹木として受け取って欲しいとの要望も出ている。(有料では苗木即売会と変わらない。現在のイベント参加記念としての苗木配布に対する要望はない。)					
	今後の予測	相続や開発などで農地が減少し、営農者の高齢化も進んでいる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:緑化の推進を目的にこれまで施設緑化や配布活動をしてきた。その結果として区内みどりを創ることにつながっている。農地の保全や営農者への支援の一環として一定の役割をはたしている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:苗木ばかりでなく花の育成も取り入れ、「花咲かせ隊」の花壇管理として活用できないか検討し、地産地消の花材生産に結びつける。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:苗木の配布について検討の余地はあるが、有料化した場合、緑化啓発の意図との整合性や苗木生産者逼迫の危険(価格競争の中に区が参入することになる)が懸念される。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:当該事業については、緑化における啓発事業の一環として取り組んでいるため					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 苗木育成を営農団体に委託している。今後の具体的な取り組み:営農者が花の生産を行い、「花咲かせ隊」が花壇管理で活用するなど、区が仲介・調整する 地産地消 型の協働の姿が理想である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在事業として滞っている苗木配布・公共緑化のための苗木育成委託から、「花咲かせ隊」などのボランティアへの花材供給を検討し、地産地消型の協働スタイルを模索する。さらにPRの方法により営農者・農地への関心も高まり最終的に農地保全が図られるようなあり方を検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民意識(苗木は無料でもらえるもの)からの変革。営農者の高齢化。苗木生産者が花卉生産が可能かどうか。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 営農者への育成委託数の見直しと花卉生産への移行の検討を行う。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設の緑化				整理番号	624		枝番号				
担当部課名	みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	644		昨年度枝番号	
係名	みどりの事業係				上位施策名								
予算事業名	みどりを創る				コード	64100		水辺とみどりの保全創出	No				
事務事業の概要	事業開始年度	●昭和 ○平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行う。		根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例 (2) (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区立学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区立学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行うことで景観の向上を図りまちに良好なみどりの空間を創出する。							
	活動指標名(式)	(1) 剪定実施施設数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 剪定総本数 (2)							
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)	箇所	220	269	205	267	260	273	273	95.2			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	本	2,402	3,000	2,913	3,000	2,870	3,000	3,000	95.7			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	69,378	68,730	68,720	68,380	68,340	69,500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	69,378	68,730	68,720	68,380	68,340	69,500					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.17 0.00	1.20 0.00	1.90 0.00	2.20 0.00	2.20 0.00	2.20 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,647	10,872	17,214	19,932	19,932	19,932				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	80,025	79,602	85,934	88,312	88,272	89,432					
	単位あたりコスト(-)÷	円	363,750	295,918	419,190	330,757	339,508	327,590					
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	80,025	79,602	85,934	88,312	88,272	89,432					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)			
	樹木管理委託							1	式	68,340			
	その他 ()									0			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 624 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	97.4	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	99.9
		計画的剪定に基づき進めており、剪定実績は高い。しかし、地域要望に応える形で進めるあまり、樹形の崩れた樹木を多く見かけるようになってしまった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		樹木の生長や住民ニーズに答えていくためには施設管理者としての良好なみどりを育成していくという意識が重要であり、効果的な管理手法への検討が求められ、一層の連携が必要となってきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	学校をはじめとした公共のみどりは、区内緑化の先導的役割を担い、ますますまちの生活環境向上のため重要となってきた。一方剪定対象樹木の生長によりコストが上がってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学校をはじめとした公共のみどりは、不安定な民間のみどりと異なり安定したみどりとしての意味合いが大きい。そのみどりを良好に管理することは地域のみどりとして安定したみどりとなる。樹木管理の要望は落ち葉、日照が主である。					
	今後の予測	公共のみどりは地域のみどりの核としてますます重要となるので良好な管理が一層求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 地域のみどりの核として公共施設のみどりは重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 住民のニーズが多様化し、樹木の生長も増加することから今後さらにコストが増加する。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 公共施設であるため受益者負担の方式をとっていない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 良好なみどりの維持管理をするにはそれ相応の費用がかかる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 樹木の状態を見て剪定の是非、施工時期、手法について専門的に判断し、計画的に施工する。 今後の具体的な取り組み: 良好な維持管理をするには専門的な判断が必要であり、専門業者への継続的委託期間の確保が必要である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域のみどりの核とするためには、施設管理者の良好なみどりを育成するという意識が重要となる。そのためには一層の連携を図り、施設管理者の参加を求め、よりきめ細やかな管理を行うことが必要である。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 緑化事業は、区立施設の管理者の理解と参加が必要である。また、樹木生長により維持管理費は上昇する。そのためできる範囲のものから管理者が手入れに参加してもらい、限られた費用の中で計画的な維持管理を行うための効果的な管理手法を検討していく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 中長期的にはコスト増も考えられるが、次年度についてはそのままの経費で現状維持ができると思われる。しかしながら、地域のみどりの核として公共施設のみどりを維持していくとともに、補植などみどりの見直しが必要であり、効果的な管理手法の検討を忘れてはならない。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区営苗圃の維持管理				整理番号	625		枝番号								
担当部課名	みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	645		昨年度枝番号					
係名	みどりの事業係				上位施策名	No											
予算事業名	みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出					12						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区有地2箇所(成田西・成田西第二)民有地2箇所(上高井戸、久我山)				根拠法令等		(1) 杉並区みどりの条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		農地の保全、寄付樹木の受け入れ用地、区民配布や公共施設緑化用苗木育成の役割を持つ。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		緑化推進を担う施設として運営してきたが、閉鎖的・費用対効果・他事業との整合性等の課題がある。開放的で有効活用された施設への変換を視野に検討する。								
	活動指標名(式)		(1) 苗木の育成本数 (2) 苗圃面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 緑化活用苗木本数 (2) (代)苗圃面積								
指標	区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
	活動指標(1)	本	12,509		12,509		12,081		12,509		12,509	96.7					
	活動指標(2)	m ²	8,138		8,138		8,138		8,138		8,138	100.0					
	成果指標(1)	本	1,431		1,000		1,288		1,000		1,000	140.0					
	成果指標(2)	m ²	8,138		8,138		8,138		8,138		8,138	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,051		13,693		13,116		13,693		13,171		13,691		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円														
	(内) 委託費		千円			1,890		1,890		12,827		12,706		12,827			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.43	0.00	0.40	0.00	0.44	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,913		3,624		3,986		2,718		2,718		2,718			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	24,964		17,317		17,102		16,411		15,889		16,409			
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,996		1,384		1,416		1,312		1,313		1,312			
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円	24,964		17,317		17,102		16,411		15,889		16,409				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
18年度の主な取組み			内 容							規模	単位	事業費(千円)					
			維持管理委託							8,041	m ²	12,706					
			光熱水費							4	所	196					
			その他 (肥料等資材購入)									269					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 625 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	96.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	96.2
	苗圃自体の管理費、除草剪定等の費用が主である。イベント用苗木配布、学校・公園等の公共施設への補植。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	苗圃の役割を明確にし、区民開放・参加型施設へと移行するため、ボランティア活動の場としての検討が必要である。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区営苗圃の開設当初は失業対策事業との関連があったが事業の廃止により苗圃運営が委託化された。また、区営苗圃の数は事業開始以降6箇所に増えたが、富士見丘・南荻窪苗圃の返還で現在4箇所となっている。苗木配布事業が少なくなり、公共施設緑化樹木、イベント配布樹木としての活用に限られている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民に開放された施設(例えば、体験学習の場)としてほしいとの要望あり。
	今後の予測	閉鎖的苗圃運営から緑化技術の啓発拠点、みどりのボランティアの活動の場、みどりのリサイクル運営拠点などを視野に入れた区民開放・参加型施設への移行を検討する。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 公共施設の新設が減少しているため、苗木の供給増加は望めない。また、土地貸借契約による苗圃は動向が不安定であり、安定した農地保全が難しい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 4箇所の個々の苗圃に適した区民開放・参加型スタイルがあり、施設移行にあたっては現事業費ではまかなえない。しかし、施設移行後は事業費の縮減・成果向上は可能である。 理由または具体的内容: 苗圃という枠にとらわれず、区民開放・参加型の施設への移行検討が必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 民有地の苗圃は無償借地であるため、受益者負担の見直しの考えはない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 現状維持管理では、専門性の高い作業についてはコストを下げられないが低いものへのボランティア参加は可能である。区民開放・参加型施設となれば、コストの縮減は可能である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な作業が多く植物の状態によって作業工程が異なるため専門知識が必要となる。 今後の具体的な取り組み: 区民開放・参加型の施設となり、ボランティア等による施設運営・維持管理がなされている状態が理想である。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 苗木購入と苗圃で苗木を生産するコストを比較すると苗木を生産して緑化することが必ずしも安価ではない。それよりは苗圃という形にこだわらない講習の場、学習の場として区民協働の活動拠点、または区民に提供できる緑地として施設移行を検討する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 苗木が大きくなり、維持管理コストが年々増加するため、現在苗圃にある苗木を早期に公共施設の緑化材料として提供する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 19年度同様、区民開放・参加型施設へ移行検討の継続が必要となる。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化の助成				整理番号	626		枝番号							
担当部課名	みどり公園課		コード	221908		連絡先 電話番号	3596		昨年度 整理番号	646		昨年度 枝番号				
係名	みどりの事業係				上位施策名				No							
予算事業名	みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出				12						
事務事業の概要	事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		60 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号 (2)		施策番号		事業コード 5			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区みどりの条例		(2) 杉並区接道緑化助成要綱		(3) 杉並区接道緑化助成要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする個人の方。屋上・壁面緑化助成は、建物の屋上又はベランダの緑化費用や、建物の壁面に設置した補助器具(ネット等)につる性植物等を添わせた緑化費用の一部を助成。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		この助成事業によって、道路沿いの生けがき化や屋上・壁面緑化を行いやすくする。									
	活動指標名(式)		(1) 接道部緑化助成延長(各年度700m) (2) 屋上・壁面緑化助成面積(各年度575㎡)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) 接道部緑化助成延長累計 (2) 屋上・壁面緑化助成面積累計									
指標	区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)	m	255.45		700.00		120.10		700.00		700.00	86.9				
	活動指標(2)	㎡	280.9		575.0		256.2		575.0		575.0	60.2				
	成果指標(1)	m	4093.00		4793.00		4213.10		4913.10		4821.10	5521.10	7621.10	63.3		
	成果指標(2)	㎡	1,173.7		1748.7		1429.9		2004.9		1775.9	2350.9	4075.9	43.6		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,922		14,713		4,894		14,713		9,097		14,713		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等		千円	6,915		14,650		4,887		14,650		9,057		14,650		
	(内) 委託費		千円													
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.67	0.00	0.60	0.00	0.51	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,097		5,436		4,621		3,624		3,624		3,624	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		0	
	総事業費 ++		千円	13,019		20,149		9,515		18,337		12,721		18,337		
	単位あたりコスト(-)÷		円	23,895		7,856		38,535		5,267		6,026		5,267		
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	13,019		20,149		9,515		18,337		12,721		18,337			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
18年度の主な取組み			内 容							規模	単位	事業費(千円)				
			生けがき等新設							557	m	4,311				
			既存堀撤去							52	m	207				
			生けがき改修							23	m	95				
			屋上・壁面							346	㎡	4,445				
			その他 ()									39				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 626 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	86.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	60.2	18年度予算 執行率%	61.8
		屋上緑化について問い合わせが、多数あった割には実行にいたるところが少なかった。接道緑化はPR効果と助成対象に業者も入れたことにより、ほぼ満額の執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		接道緑化助成については、緑化計画と一体で取り組んでおり、問い合わせの件数が増え、PR効果も上がっている。しかし、屋上緑化助成実績の伸び悩みについては、今後のPR等の拡大が重要となる。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度に1本化された生けがき助成制度として開始し、平成14年10月1日より屋上・壁面等対象を拡大している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ヒートアイランド現象等により、緑化に対する関心が高まり、問い合わせの件数が増加している。					
	今後の予測	防災、緑視景観、生活環境の改善等の観点から、必要性の認識が高まってくると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: まちのみどり減少の中で道路沿いに緑化することは緑視率の向上につながり、貢献度は大きい。また、屋上・壁面緑化はヒートアイランド現象を緩和する効果や、地球温暖化を防止する効果があり、貢献度は大きい。特に商業地域における緑地の確保という意味からも重要な役割を果たす。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 一定の基準に基づく助成制度であるので、行政が実施すべき事業である。					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 建築相談会のような、区民にみえるPRを。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 所有者が自己負担で行った緑化工事に対して助成金を交付している。緑化計画に対する助成的要素もあり、助成内容を一層充実して行く必要がある。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 所有者が自己負担で行った緑化工事に対して助成金を交付している。緑化計画に対する助成的要素もあり、助成内容を一層充実して行く必要がある。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 敷地の道路に面した部分の生けがき工事や屋上・壁面の緑化工事に要する費用の一部を助成金として交付している。私有地の緑地の確保に一役を担っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 接道部、屋上・壁面緑化助成のPRに一層努めていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限度額100万円は申請の手間が大変だとしても魅力的である。限度額を下げた場合手間の方がかかるようだと申請件数が減少すると思われる。限度額の適正な額について検証する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 緑化助成のPRに一層努め、特に屋上・壁面緑化への取り組み内容について再度検討を加える。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保護樹木・保護樹林・保護生けがき・貴重木の補助				整理番号	627		枝番号								
担当部課名	みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	647		昨年度枝番号					
係名	みどりの事業係				上位施策名	No											
予算事業名	みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出				12							
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(2)		施策番号	事業コード	6-1	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 基準以上の樹木、樹林、生けがきを所有する個人・法人				根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区みどりの条例施行規則 (3) 杉並区貴重木保全事業実施要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区内現存の一定基準以上の樹木等を所有者の同意を得て保護指定し、維持管理費用の一部を補助。貴重木は所有者と一定期間(10年以上)保全協定を結び、費用の一部を補助、樹木医派遣、支障枝の剪定を行う。貴重木は46本を指定、本数を維持する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区で標識を設置し補助金を交付することによって地域住民に保護すべきみどりであることを周知し、所有者が樹木等の維持管理がしやすくなる。貴重木については、必要に応じて樹木医の派遣や支障枝の剪定を区が行うことで、長期に保全することができる。									
	活動指標名(式)			(1) 保護樹木の本数 (2) 保護樹林の面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 保護樹木継続率: 今年度樹木本数 ÷ 前年度樹木本数 * 100 (2) 保護樹林継続率: 今年度m ² 数 ÷ 前年度m ² 数 * 100									
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%						
	活動指標(1)		本	1,673	1,900	1,672	1,900	1,677	1,900	1,900	88.3						
	活動指標(2)		m ²	614,646	620,000	587,176	610,000	581,810	610,000	610,000	95.4						
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.3						
	成果指標(2)		%	98.6	100.0	96	100.0	99	100	100	99.1						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,696	35,920	26,911	49,430	37,803	47,372	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)							
	(内) 投資的経費等		千円														
	(内) 委託費		千円														
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.30 0.00	1.30 0.00	1.80 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00								
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	11,830	11,778	16,308	13,590	13,590	13,590							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	40,526	47,698	43,219	63,020	51,393	60,962								
	単位あたりコスト(-) ÷		円	24,224	25,104	25,849	33,168	30,646	32,085								
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0									
差引: 一般財源 -		千円	40,526	47,698	43,219	63,020	51,393	60,962									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)							
			保護樹木					1,677	本	9,761							
			保護樹林					581,810	m ²	19,897							
			保護生けがき					6,085	m	4,910							
			貴重木					46	本	1,127							
			その他 (保険料、樹木管理委託費等)							2,108							

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 627 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	88.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	95.4	18年度予算 執行率%	76.5
	建築計画によりやむを得ず樹木が伐採されたため、保護樹林面積が減少し補助金交付対象が減少した。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	制度の理解と協力を得るため、広報によるPRを行う。
---	---------------------------

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	保護樹木・保護樹林については、昭和48年の事業開始後増加していたが、相続等に伴い近年減少傾向が見られる。保護生けがきは、昭和50年に1,802mから、平成18年には6,084.7mに増加している。保護生けがきは生けがき協定と一本化され、指定基準が30mから10mに変更になり、一層の増加が期待できる。18年度より、助成金額が改定され増額された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保護指定樹木に関わる日照問題、落ち葉の問題による近隣とのトラブルは少ない。また、所有者の高齢化や管理費の問題で、個人で維持することが困難となってきており、行政や地域の積極的な支援を期待している。
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などによって開発や宅地の細分化が進み、保護指定樹木の保全は困難になる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:所有者の同意を得て保護指定を行うものであり、所有者の事情で解除できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:土地の細分化にともない、みどりの維持が建築面積の関係で困難になって来ている。 理由または具体的内容:近隣関係の向上を図るため、周囲の住宅の屋根清掃とか雨どいカバーの設置などの検討をする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:大木ほど維持管理費用がかかるため難しい
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:大木ほど維持管理費用がかかるため難しい。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 保護樹木等の所有者に維持管理に要する費用の一部を補助金として交付する。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 根拠法令等の見直し、継続的に樹木の状況を把握し、必要な指導を行い、良好な保護樹木等として維持を計る。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	樹木の解除が増加するなか、新たな樹林を指定することは、非常に難しい。土地の動向からも保全することは難しく、今後の取り組みへの大きな課題。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化指導				整理番号	628		枝番号					
担当部課名	みどり公園課		コード	221908		連絡先電話番号	3596		昨年度整理番号	648		昨年度枝番号		
係名	みどりの事業係				上位施策名						No			
予算事業名	みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出					12			
事務事業の概要	事業開始年度	●昭和 ○平成		48年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(2)		施策番号	事業コード	6-2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区内で建築計画や収容台数20台以上の駐車場を設置する個人、事業者。										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	建築計画や20台以上の駐車場設置計画に対し、緑化計画の提出を求め、用途地域に応じた緑化指導を行う。また、計画時に伐採予定樹木を寄付する申し出があり、基準を満たし受け取り可能であれば、その樹木を公共施設に移植する。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区公共施設緑化推進要綱 (3) 寄付樹木取扱要領							
	活動指標名(式)	(1) 緑化計画書受理件数 (2) 寄付樹木受領本数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 緑化された率 (緑地面積 ÷ 敷地面積 × 100) 当該年度完了届分で積算 (2) 計画実行率 (受領本数 ÷ 受領計画本数 × 100)							
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	605	600	660	600	604	600	600	600	100.7		
	活動指標(2)		本	202	100	76	100	51	100	100	100	51.0		
	成果指標(1)		%	17.69	20.00	15	20.00	19	20	20	20	97.3		
	成果指標(2)		%	202	100	76	100	51	100	100	100	51.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,810	2,824	2,792	2,840	2,752	2,826	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.03 0.00	2.60 0.00	2.80 0.00	2.30 0.00	2.30 0.00	2.30 0.00	2.30 0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	268	23,556	25,368	20,838	20,838	20,838				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	3,078	26,380	28,160	23,678	23,590	23,664					
	単位あたりコスト(-)÷		円	5,088	43,967	42,667	39,463	39,056	39,440					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	3,078	26,380	28,160	23,678	23,590	23,664						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			緑化計画概要書(敷地面積200㎡未満)受理件数					604	件	57				
			緑化計画書(敷地面積200㎡以上)受理件数					476	件					
			寄付樹木					51	本	2,695				
			その他 ()							0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 628 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	51.0	18年度予算 執行率%	96.9
		寄付樹木制度の執行状況は高く、既存樹木の保全に重要な役割を果たしている。しかし、引き取り先が公共施設のみで対応しているため、引き取り量が限られ、申し出量との関係にズレが生じており、制度の検討が必要になってきている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年7月から条例改正により、緑化計画の手続きが200㎡未満も対称となり、緑化計画概要書の新規手続きが増となった。緑化指導については広報PRと業者指導を充実した結果、緑化相談件数が増え、業者だけではなく施主の協力を得られるようになってきた。18年度の完了実績より、緑地率は目標の15%以上を確保することが出来た。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開発による宅地化と敷地の細分化が進み、屋敷林など樹林地が減少し、既存樹木の伐採が目立つ					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	大規模開発に伴う樹木の伐採など、みどりの減少に心配する声が挙がっており、寄付樹木の扱いを誰でも参加できるようにできないか。区の積極的な緑化指導を求める住民要望も多く聞かれる。					
	今後の予測	今後も相続や建築の規制緩和などにより宅地の細分化や狭小化が進行し、緑地確保のため緑化指導の重要性が一層高まると予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 緑化指導を行うことにより、みどりの減少に歯止めをかけ、一定程度のみどりの保全・創出が可能になる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緑化基準、緑地保全の必要性が理解されれば、企業等自主的な管理が可能となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 緑化はすべて区民、事業者の負担で行われている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の経費で事務を行っている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題私有地の伐採予定樹木の中から公共施設等に移植可能なものを寄付樹木として受領し、寄付樹木制度の充実を図るとともに、既存樹木を守る。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 緑化相談を一層充実し、緑化計画と共に、植木の手入れから庭造りまで、緑化全般を相談できる緑化相談コーナーを定期的に開設し区民にみどりの大切さをPRし緑化基準の見直しも行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりの条例の見直しが進められているため、見直し後主旨に適合した基準を作る。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生き物生息場所の保全・創出				整理番号	629	枝番号			
担当部課名	みどり公園課	コード	221908	連絡先電話番号	3596	昨年度整理番号	649	昨年度枝番号			
係名	みどりの事業係	上位施策名			No						
予算事業名	みどりを守る	コード	64300	水辺とみどりの保全創出			12				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(2)	施策番号	事業コード	6-3
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	区立小学校等					(1) 杉並区みどりの条例					
					(2)						
				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
杉並区の貴重な植物を保全・創出するため、公共施設等の敷地の一角に貴重種の生息場所を設ける。				貴重な植物等を区民に周知し、保全に向けて意識を高揚する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 保全箇所数(累計)				(1) 保全できた箇所数 ÷ 保全予定箇所数 × 100							
(2) 創出箇所数				(2) 創出できた箇所数 ÷ 創出予定箇所数 × 100							
区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	箇所	1	2	1	2	1	2	2	50.0	
	活動指標(2)	箇所	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	成果指標(1)	%	50	100	50	100	50	100	100	50.0	
	成果指標(2)	%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	345	2,330	524	1,330	91	1,330	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	344	2,330	524	1,330	91	1,330			
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.15 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,365	1,359	1,359	906	906	906		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	1,710	3,689	1,883	2,236	997	2,236			
	単位あたりコスト(-) ÷	円	1,365,900	679,500	1,359,000	453,000	906,000	453,000			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	1,710	3,689	1,883	2,236	997	2,236			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	生き物生息場所の創出(杉並第二小学校・杉並第九小学校)						2	校	91		
	その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 629 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	50.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	6.8
		貴重植物の選定はむずかしいが、わずかな予算でもボランティア参加による効果は大きい。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		貴重植物の確保が大切であり、従来の自生品種の選定では、地域特性に合った品種を確保するとともに、他地域での保全に向けた連携が必要となる。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	14年度は地域区民センターで創出整備を行い、整備後の管理について区民と協定を結んだ。15・16・17・18年度は学習教材としての活用・保全が図られる小学校で創出整備を行った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学校ビオトープ設置後の維持管理に必要な資材あるいは人材(指導等の講師)が求められ、活動報告を行う場も求められている。					
	今後の予測	みどりを取り巻く自然環境は悪化すると予想され、杉並区の地域特性に合った貴重種(レッドデータ)を保全することは生態系の観点からも重要な意味をもつ。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:失われつつある貴重な生き物を保全することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:専門知識のあるボランティアに依頼して整備段階から参加していただく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:区みずから施設を緑化しているため					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現状も最小限の経費で取り組んでいる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題場所の選定・調整・資材の購入は職員が行い、看板等の設置は業者に委託。植付けはボランティア等に依頼。貴重植物の維持管理においてボランティアと協定を結び保全に努めている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「杉並区自然環境調査報告書」をもとに、環境課との連携を図り、区の財産としての貴重種の選別を行う。杉並らしい面影を再現できる事業でもあり、計画段階では環境課・地域課・教育委員会と調整を行い、整備維持管理段階では土木事務所等とのタイアップ事業として展開を検討していく。また、積極的に区民や学校の参加を促していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区内に残された未利用のがけ地の保全を図り、貴重種の保全に取り組む。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区内に残された未利用のがけ地の保全を図り、貴重種の保全に取り組む。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		市民緑地の管理				整理番号	630	枝番号		
担当部課名	みどり公園課	コード	221908	連絡先電話番号	3596	昨年度整理番号	650	昨年度枝番号		
係名	みどりの事業係	上位施策名				No				
予算事業名	みどりを守る	コード	64300	水辺とみどりの保全創出				12		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 300㎡以上の良好な樹林地等の所有者		(1) 都市緑地法 (2) 杉並区みどりの条例 (3) 杉並区市民緑地「いいの森」の設置及び管理に関する要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	良好な生活環境の形成を図るため、区内の樹林地を区が長期間借上げ、区民が利用する市民緑地として管理し公開する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 樹林地を区が借り上げることによって、所有者が固定資産税の免除などの税制措置を受けることができ、その樹林地を保全しやすくなる。				
	活動指標名(式)	(1) 市民緑地面積 (2) 市民緑地設置数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 樹林等の保全率(市民緑地管理面積 ÷ 市民緑地面積 × 100) (2)						
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
	活動指標(1)	㎡	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	100.0
	活動指標(2)	箇所	2	2	2	2	2	2	2	100.0
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100	100	100.0
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	216	2,386	943	216	169	215	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	157	157	157	157	157	157		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10 0.00	0.50 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	910	4,530	906	906	906	906	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	1,126	6,916	1,849	1,122	1,075	1,121		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	533	3,275	875	531	509	531		
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	1,126	6,916	1,849	1,122	1,075	1,121		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)	
	清掃委託						1	所	157	
	その他 (光熱水費等)								12	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 630 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	78.2
		市民緑地2箇所の維持管理を実施。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		実績として、既存施設に関して、所有者と十分な打ち合わせを行い、改善を進めていく。17年度は安全対策のため、「清水いこいの森」における大谷石積改修工事を完了し、工事費用は所有者の50%負担で実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	個人所有の樹林で最も大きい面積を占めるのは屋敷林であるが、マンションや駐車場などの建設にともない伐採され、面積が減少するとともに狭小化が進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	現在、2箇所の市民緑地(いこいの森)が公開され区民利用がされているが、犬の放し飼いや糞の始末などの苦情が寄せられている。また、夜間の防犯上の問題についても不安との声が出ている。					
	今後の予測	今後も、開発や宅地化の進行により、昔ながらの屋敷林は減少していくと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 貴重な樹林を守るとともに、区民がそれを利用し豊かな区民生活ができるようになる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 地域に根ざした緑地として認められるようになってきている。 理由または具体的内容: 専門的な部分を除く維持管理について地域住民(ボランティア等)などと連携を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 市民緑地は無償借地であり、区民に公開する制度であるため、見直しの考えはない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 維持管理経費も最小限に管理しているが、地域住民(ボランティア等)の清掃・樹木維持管理等への協力により現コストの削減は可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 市民緑地は所有者との契約により区民に公開されている。維持管理については業者委託、資材提供等で行われている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の貴重な樹林地については、所有者の理解と協力が不可欠である。平成16年「都市緑地法」への改正に伴い、市民緑地の対象が樹林地ばかりでなく、草地等へと拡大された。緑地保全を担う制度であるので、対象地の把握と制度の積極的なPRに努める必要がある。また、管理面では住民との協働を模索する必要がある。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 市民緑地制度について積極的にPRするとともに、開発や宅地化を防止するため、将来的には区が買い取り緑地として整備していくことも検討する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 市民緑地となりうる対象地の把握と制度の積極的なPRを行っていく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの調査・研究					整理番号	631	枝番号						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	内3593	昨年度整理番号	651	昨年度枝番号					
係名		みどりの計画係			上位施策名			No							
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出			12						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		47 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	2	施策番号	1	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区内に存するみどり等		(1) 杉並区みどりの条例		(2)				(3)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内に存するみどりの実態把握を行う調査の実施や緑化施策の研究・検討を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内の緑の変化の把握を通して、施策の妥当性などを検証する。								
	活動指標名(式)		(1) みどりの実態調査の実施 (2) 緑化推進連絡会等の開催		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (2)								
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)		回	0	0	0	0	0	1	0					
	活動指標(2)		回	5	15	10	15	3	4	4	75.0				
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	515	317	123	269	122	30,319	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	30,000						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.66	1.50	1.70	0.50	0.50	1.00						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	15,106	13,590	15,402	4,530	4,530	9,060					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	15,621	13,907	15,525	4,799	4,652	39,379						
	単位あたりコスト(-)÷		円						39,379,000						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	15,621	13,907	15,525	4,799	4,652	39,379							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			東京みどりの研究会					3	回	40					
			資料用図書等の購入					1	式	74					
			通信費					1	式	8					
			その他 ()							0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 631 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	20.0	18年度予算 執行率%	45.4
		みどりに関する研究に要する支出が少なかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		みどりの保全に関する検討会への参加などをしてきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	初期に比べみどりを取り巻く状況の変化速度が増している。こうしたなか、みどりの基本計画によるみどり39プランの着実な推進が行われているが、民有のみどりの減少傾向に歯止めがかからない状況である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	民有のみどりを守る努力への要望が多く寄せられるようになっている。					
	今後の予測	今後益々民有のみどりの減少が進むと予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:緑化施策の調査研究は、区内のみどりの保全策を検討する上で重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:今まで以上にみどりに対する多角的な研究をし、知恵を結集する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 みどりの調査は、5年に一度専門業者に委託(次回19年度)して実施している。また、あらゆる主体と情報交換などすることを通して、緑化施策の見直しなどを積極的に進める。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 研究スタッフの育成と情報の収集、関係自治体との連携。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのベルトづくり					整理番号	632	枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先 電話番号	内3593	昨年度 整理番号	652	昨年度 枝番号		
係名		みどりの計画係					上位施策名		No			
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出		12				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		17年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号 1 事業コード		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区みどりのベルトづくり計画 (3)					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内全域で帯状のみどり空間を創出する活動主体		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		みどりの豊かさが実感できるまちを実現するため、区民等と区が協働してみどりの拠点や帯状のみどり空間づくりを通して、風の通り道の形成を図る。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		みどりのベルトづくりを区内で進めるために、まちの特性を踏まえ、事業のモデルとなる地区を決め、様々なベルト形成活動を実施し、区内全域への事業展開を進める。		活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 検討組織検討会開催数 (2) モデル地区の指定数					
	活動指標名(式)		(1) みどりのベルト検討組織数 (2) 検討モデル地区数		(1) 検討組織検討会開催数 (2) モデル地区の指定数							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		会				1	1	2	3	33.3	
	活動指標(2)		地区				1	1	1	3	33.3	
	成果指標(1)		回				4	4	6	18	22.2	
成果指標(2)		地区				1	0	0	2	0.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		1,229	22	2,010	1,470	2,510	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円		0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円		0	0	1,500	1,470	1,500			
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.32	0.32	0.90	0.90	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	2,899	2,899	8,154	8,154	9,060		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	4,128	2,921	10,164	9,624	11,570			
	単位あたりコスト(-)÷		円				10,164,000	9,624,000	5,785,000			
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	4,128	2,921	10,164	9,624	11,570				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			みどりのベルトづくりモデル地区基礎調査の実施(委託等)					1	式	1,470		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 632 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	73.1
		先行する他のまちづくり事業の検討内容と整合性を取りながら地元協議を行うタイミングとモデル事業の内部検討を進めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		他のまちづくり事業と連携しながら、事業検討を行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	みどりのベルトづくり計画によるモデル地区予定エリアの隣接地区で、新たな公共施設づくりや道路整備計画が持ち上がっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	施設づくりや道路、広場の整備が先行するため、整合性を十分取る必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: まちのみどりの資源を有機的に結びつける緑化活動であるため、まちの環境改善など効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 新たなまちの緑化活動として事業者や住民の理解をもとに地域特性にあった計画をつくり、その後、具体的事業を推進するため増加となる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業を進めるなかでは、緑化活動主体の負担も発生する。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 今後は、計画をつくり、その後具体的な緑化活動や緑化事業が推進される。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 事業地区エリア内の個人、事業者などと協力しながらまちの緑化活動を推進する。そのため、民間の活動に対する支援策などを講じる必要がある。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後、モデル地区エリアの決定やまちに合った緑化手法と既定の事業や新規事業などの検討が行われ、具体的事業の実施内容が定められ、みどりのまちづくりが進められる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 公共部分の緑化活動は、一定程度事業とすれば進む。しかし、民有部分での緑化は、所有者などの理解と協力なしには進まない。そのためには、活用できる緑化施策を用意し、十分なPRなどをしながら緑化活動を支援することが必要である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 モデル地区候補での地元協議に入るため、委託料など必要経費が増となる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクルの普及・啓発				整理番号	633		枝番号			
担当部課名		都市整備部みどり公園課		コード	221904	連絡先電話番号	内3593		昨年度整理番号	653	昨年度枝番号	
係名		みどりの計画係				上位施策名		No				
予算事業名		みどりを育てる		コード	63900	水辺とみどりの保全創出		12				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		17年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 2 施策番号 1 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象区民		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区みどりのリサイクル計画 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		みどりの課題への理解を拡げることや、剪定枝、落ち葉等植物発生材を資源として土に返す意識の普及や実践活動を拡げる。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) みどりの維持管理などから発生する剪定枝や落ち葉等の植物発生材を、環境への負荷を軽減するため、可燃ゴミとせず土に返す活動を拡げる。							
	活動指標名(式)		(1) みどりのリサイクルのPR回数 (2) みどりのリサイクルイベントの開催		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) みどりのボランティアなどによる落ち葉溜め設置数 (2) みどりのリサイクルイベント参加者数							
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		回		22	10	22	12	22	22	54.5	
	活動指標(2)		回		1	0	1	1	1	2	50.0	
	成果指標(1)		箇所		10	5	10	3	10	10	30.0	
成果指標(2)		人		100	0	1,000	600	1,000	2,000	30.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		902	0	461	105	461	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円		0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円		0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.30	0.30	0.40	0.40	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	2,718	2,718	3,624	3,624	1,812		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	3,620	2,718	4,085	3,729	2,273			
	単位あたりコスト(-)÷		円		164,545	271,800	185,682	310,750	103,318			
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	0	3,620	2,718	4,085	3,729	2,273				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		落ち葉感謝祭の開催						1	回	43		
		落ち葉溜めの設置						3	箇所	62		
		その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 633 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	54.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	22.8
		みどりのリサイクルサポーターのきっかけづくりにとどまったため、サポーターの組織化ができなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	落ち葉や日陰などと言った、みどりが持つ課題に起因する住民間のトラブルが増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	落ち葉や剪定枝の処分に対する要望が増加している。					
	今後の予測	杉並は住宅地として益々発展が予想されることから、古くからある高木が持つ課題が益々クローズアップすると考えている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 樹木等の維持管理により発生する植物発生材は、敷地規模の縮小化が進むなか、個人による活用に限界があり、行政においても困難である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 発生量とリサイクル量のバランスをとることは困難である。 理由または具体的内容: リサイクル量を拡大するためのヤードやプラントの確保					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: みどりを持たない人からの環境税などの徴収による財源を活用してのみどりの保全育成。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: みどりのリサイクルに関するPRは、今後、これまで以上に進める必要がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ボランティアによるリサイクル活動の広がりが見えてきたことから、落ち葉などの処理フィールドの提供など積極的に行っていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後も継続して植物発生材のリサイクルについてPRを進める。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 リサイクルヤードの確保	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校のエコアップ				整理番号	759	枝番号						
担当部課名		教育委員会庶務課		コード	600107	連絡先電話番号	1612	昨年度整理番号	768	昨年度枝番号				
係名		経理係		上位施策名				No						
予算事業名		学校緑化推進		コード	72560	水辺とみどりの保全創出				12				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	1	施策番号	2	事業コード	18
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立小・中学校						(1) 学校教育法第5条 (2) 地方自治法第180条の2 (3) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区立小・中学校の校庭、屋上、壁面の緑化、ピオトープの設置及びエコスクール改修を推進していく						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 学校教育施設の緑化を推進し、みどりの保護・育成を図るとともに自然環境への負荷を軽減したエコスクールの整備を行い、学校を環境教育の拠点とする。					
	活動指標名(式)		(1) 累計校舎屋上緑化実施校数 (2) 累計校舎壁面緑化実施校数						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 累計校舎屋上緑化面積 (2) 累計校舎壁面緑化面積					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		校	8	11	11	16	16	21	36	44.4			
	活動指標(2)		校	0	1	1	6	6	11	17	35.3			
	成果指標(1)		m ²	3,021	4,034	4,034	5,984	5,836	7,668	13,668	42.7			
	成果指標(2)		m ²	0	190	190	1,090	1,261	2,460	4,860	25.9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	47,492	122,000	112,826	188,000	147,408	278,832	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円	47,492	122,000	112,826	188,000	147,408	278,832					
	(内) 委託費		千円	47,492	122,000	112,826	188,000	147,408	278,832					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.80	0.80	1.10	1.10	1.10	1.30	計画上の校舎屋上緑化面積を実績数値に基づき、1校あたり390m ² とする。 計画上の校舎壁面緑化面積を実績数値に基づき180平米とする。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,280	7,248	9,966	9,966	9,966	11,778					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	54,772	129,248	122,792	197,966	157,374	290,610					
	単位あたりコスト(-)÷		円	910,000	658,909	906,000	622,875	622,875	560,857					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	54,772	129,248	122,792	197,966	157,374	290,610						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		校庭緑地化(2校)						2,218	m ²					
		校舎屋上緑化(5校)						1,802	m ²					
		ピオトープ(2校)						97	m ²					
		校舎壁面緑化(5校)						1,084	m ²					
		その他 (エコスクール改修)						1	校	147,408				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 759 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	78.4
		計画的な執行を行うことに努めたが、					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度における校庭の緑地化については、運営管理団体をつくり維持管理を行うことによって、東京都からの100%助成が可能になっていることから今後も地域との連携を図り維持管理を行っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	校庭緑地化については、工期短縮と早期育成を図るため、種蒔き方式からロール芝を導入した工種へ変更した。また、屋上緑化についても、芝の育成に適した土壌管理が出来る方式を採用している。18年度からはエコスールの改修も行い、環境に配慮した学校づくりを行った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	校庭緑地化については、「校庭で遊ぶ子どもが増えた」という声を聞く一方で、養生期間中の代替地の希望や維持管理に対する技術指導の必要性が上げられている。					
	今後の予測	事業開始当初に行った校庭緑地化工事や屋上緑化工事ではすでに改修の必要性も言われている。既定のメンテナンス以外に改修の計画も必要になっていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 地域緑地化の先導的な役割を果たすとともに、環境教育の一助となり大変重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: ハード面の整備に加え、環境教育をさらに充実させトータル的なエコスクールづくりを行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 教育委員会が自らの施設を緑化、改修し、自然環境や前人類が受益者であるため。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 校庭の緑地化については既に工種の見直しを行っている。また、備品についても今年度から施工業者の責任において工期に合わせて納入する法式に変えることにより、養生期間終了後から地域への指導等を可能にさせた。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 緑化の整備や維持においては専門業者への施工・委託を行い成果をあげている。また、校庭の芝生については地域と連携した管理を継続させている。今年度からは、学校、保護者、地域の連携による利活用の体制づくりをNPOによってコーディネートしている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度以降の実施計画、予算編成に基づき学校や地域の実情に即した緑化事業を進めていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改革案の実施により、事業費の増加となるが、環境負荷の軽減や環境教育の充実がいつそう図られる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 児童・生徒への環境教育を充実するため、環境教育教材となるハード面の整備も推進していくことが必要のため。		